

2020年5月6日

《若手理学療法士への期待》

このトピックスを読んでいただいている若手理学療法士の多くの方は、これから選択していく各専門分野について情報を集められていると思います。『産業保健分野の理学療法』に興味があれば是非参加していただき、知識と技術の向上に役立ててください。

本稿では、『産業保健分野の理学療法』について簡単にご紹介していきます。

1. 『産業保健分野の理学療法』の関連領域

- 勤労者を対象にした運動器疼痛予防
- 勤労者を対象にした生活習慣病予防
- 勤労者を対象としたメンタルヘルスケア
- 就労・復職支援

HPに研修会や関連情報を公開していますのでぜひご覧ください。

<http://jspt.japanpt.or.jp/occhealth/workshop/>

2. 社会の需要&学習セミナー

人生100年時代、「一億総活躍社会」の実現に向けて、産業分野では健康経営など社員の健康増進への意識が向上しています。そのため、多様な働き方に対応されている事業者と勤労者に対し、採算を伴った健康増進や快適な職場環境への支援が求められています。

しかし、多くの理学療法士が働いている医療現場とは異なり、産業保健分野で活躍されている理学療法士はわずかであり、学校教育で十分に網羅されていない産業保健分野の法律や制度、企業や業務現場の理解が必要となります。そのため当部門では、生涯学習課と連携し、企業に協力頂きOJTを含めた研修会の開催や2019年からは産業医や保健師の先生にご講演を頂く「衛生管理者受験セミナー」を開催しています。

3. 産業保健分野の実践

理学療法士が実践できる内容は、個別には心身の状態に適した作業評価・環境評価・身体活動（運動）の実践やKAIZENの提案、集団または経営層には社員の健康増進や長期的な採算性に基づく健康経営への支援などがあります。

4. 若手理学療法士への期待

政府の指針として予防医療の重点化が示されるなか、働く人の健康増進に貢献していくことが理学療法士の大切な役割の一つになると考えています。若手理学療法士の皆様には、10年後、20年後を見据え、目標を持った仲間と交流しながら、実践だけでなく学術活動も推進していき、第一線で活躍されることを期待しています。

《近年のトピックス》

高齢化の問題は世界共通ですが、世界に先駆け超高齢社会に突入する日本はどのように対応していくのか世界が注目していることはご存知でしょうか。社会保障費の拡大が財政を圧迫する要因となり、労働力の減少に伴う経済活動の停滞が懸念されるなか、誰もが、楽しく、健康に生きるか、『生涯現役社会の実現』に向けての法整備が行われています。

本稿では、ヘルスケア産業の未来や日本理学療法士協会に関する近年のトピックスに触れていきますので、この機会に産業理学療法部門に興味を持っていただければと思います。

【ヘルスケア産業の未来】

今後の日本では、ヘルスケア産業（公的保健外サービスの産業）の市場規模が2025年には約33兆円になる推計があり、さらに拡大していくことが経済産業省の資料からも示されています。

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/jisedai_health/pdf/008_04_00.pdf

まだ、産業保健分野で活躍されている理学療法士は僅かですが、国内の先駆的な取り組み事例や海外の産業保健分野で活躍されている理学療法士の知識や技術を学び、働く人々の健康を支え、日本の未来に貢献してほしいと考えています。

【日本理学療法士協会が関連するトピックス 2019年～】

○2019年5月 IFPTOHEがWCPTサブグループに承認

日本理学療法士協会は、2018年5月よりIFPTOHE: International Federation of Physical Therapists working in Occupational Health and Ergonomicsに加盟しました。

○2019年6月 日本理学療法士協会の職能課に産業領域業務推進委員会が設置

高齢者への就業支援の方法が検討されています。

○2020年4月 厚生労働省職業安定局長発出、障がい者就労支援に関して

ハローワークの障害者職業紹介業務取扱要領が改正され、就職支援ナビゲーター（障害者支援分）及び就職支援コーディネーター（障害者支援分）の任用要件に理学療法士が新たに明記されました。

【最後に】

世界や日本の潮流を少し知ることから、興味が生まれ、新しい発見に繋がることがあります。産業保健分野では理学療法士が活躍できる場面はまだ少ないですが、臨床の専門性、現場の意見を聞く能力や情報収集が求められる分野であり、日々の研鑽が欠かせません。HPに研修会や関連情報を公開していますのでぜひご覧ください。

<http://jspt.japanpt.or.jp/occhealth/database/index.html>